



(一社)日本建築構造技術者協会

JSCA 栃木

2023年度 JSCA 栃木 技術委員会発表会(第1回)

「大地震時の真の応答値」について

—耐震設計の本質に迫る—

- 主催 (一社)日本建築構造技術者協会
JSCA 栃木 技術委員会
- 講師 後藤弘構造設計室・システムエンジニアリング
代表 後藤 弘 (JSCA 会員)
- 日時 2023年8月4日(金曜日) 18時30分～21時30分
- 場所 宇都宮市東市民活動センター 創作室
(宇都宮東図書館に併設された施設です)
宇都宮市中今泉3丁目5-1
TEL:028-638-5784
- 参加資格 JSCA 会員のみ
- 参加費 無料
- 定員 15名(先着順)
- 申し込み方法

JSCA 栃木ホームページ(<http://jscatochigi.web.fc2.com/>)の「申し込み/問合せ」から「講習会等参加申し込み」に入り「講習会等タイトル」の選択ボタンより講習会タイトルを選択して、必要事項を記入し、「確認」「送信」ボタンを押してください。

申し込み締め切り 2023年7月31日(月曜日)

発表会の主旨

大地震時(極稀地震時)の建物の変形(角)を、一貫構造計算プログラムの非線形荷重増分解析結果の $Q-\delta$ (層せん断力と変形(角)の結果)を用い、2020年版「建築物の構造関係技術基準解説」の第7章限界耐力計算の計算方法に沿って真の変位と真の保有水平耐力を算出する。

計算ツールは Excel を用い、計算過程を可視化し、手計算での計算トレースを可能にしてある。

「保有水平耐力計算」と「限界耐力計算」の各層の変形角及び保有水平耐力の値の違いを探ってみる。

又、「国土交通省構造設計基準」の大地震時層間変形角推定値との比較も行っています。

日頃使用している保有水平耐力計算を別の角度から俯瞰し、地震力設定から建物の減衰を評価した建物の耐震性能を再評価するよい機会と考えます。

JSCA 栃木サテライト会員のみ参加の発表会ですので、皆さんで議論がしやすいと思います。

本発表会をベースに参加者の皆さんで、耐震設計について議論を深め、スキルアップの機会になればよいと考えています。

多くの会員皆様の参加をお願いします。